

TY-1710

USB・SDカード・ラジオ・カセット マルチレコーダー

はじめに

この度はマルチレコーダーTY-1710をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

※ この取扱説明書をよくお読みの上正しくご使用下さい。

※ 本取扱説明書には保証書が付属していますので大切に保管して下さい。

※ 付属品をお確かめ下さい。

◆ 目次

安全上のご注意 及び ご使用にあたってのお願い	2-4
主な特長及び付属品	4
各部名称	5
ご使用になる前に	6
電源の操作/ラジオの操作	7
カセットテープの操作	8
USBメモリーとSDカードの操作(その1)	9
USBメモリーとSDカードの操作(その2)	10
製品仕様	11
保証書	12



安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。
- お読みになった後もいつでも見れるところに必ず保管して下さい。

絵表示について この取り扱い説明書には、使用者が製品を安全にお使いいただき、理解し易い様に色々な絵表示を使用しています。誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。いずれも重要な内容ですので必ず守って下さい。

絵表示の例

	警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損傷の発生が想定される内容を示しています。
分解禁止  	記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	記号は、使用者の行為を指示強制したりする内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜く)が描かれています。

警告

 禁止	交流100V以外の電圧では使用しないで下さい。 * 火災・感電の原因となります。	 禁止	本機に水をかけたり、濡らしたり、また本機の上に水などの入った容器や小さな金属物をおかないで下さい。 * 火災・感電の原因となります。
 注意	本機を落としたりして破損した場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。 * そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理を依頼下さい。ご自身での修理は危険ですから、絶対にお止め下さい。特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。	 禁止	電源コードやプラグを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないで下さい。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 * コードやプラグの修理は販売店にご相談下さい。
 接触禁止	雷が鳴っている時は、絶対にAC電源プラグに触れないで下さい。 * 感電の原因となります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜いたり差したりしないで下さい。 * 感電の原因となります。
 分解禁止	絶対に分解したり・修理・改造は行わないで下さい。(キャビネットも外さないで下さい。) * 火災・感電の原因となります。 販売店で点検・整備・修理をご依頼下さい。	 禁止	本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、落としたりしないで下さい。 * 火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。

警告



注意

変な臭いや音がしたり、煙が出たらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。
* そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理を依頼下さい。ご自身での修理は危険ですから、絶対におやめ下さい。



注意

本機の中に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源コンセントから本体の電源プラグを抜いて下さい。
* そのまま使用すると、火災・感電の原因となりますので、販売店にご相談下さい。



指示

電源プラグのほこりや汚れを定期的に乾いた布でふき取って下さい。
* プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁劣化となり、火災の原因となります。



禁止

乾電池を充電しない。
* 乾電池の晴れるや液漏れが発生し、火災や怪我、更に故障に原因になります。

注意



注意

電源プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。
* 差込が不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。
* 抜く時は、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグ本体を持って抜いて下さい。



禁止

本機に布をかぶせたりしないで下さい。
* 内部に熱がこもり、火災の原因となりますので、ご注意下さい。
* テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないで下さい。
* 本機を押入れなどの風通しの悪い狭いところで使用しないで下さい。



注意

効果的な放熱の為に、他の機器との間は少し離して置いて下さい
* 間隔が不十分ですと、火災・故障の原因となります。ラック等に設置する時は、本機の前左右天面から15cm以上のすきまを空けて下さい。



禁止

直射日光が当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かないで下さい。
* キャビネットや部品の故障の原因となったり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。



電源プラグを
コンセントから抜く

本機を移動する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、外部接続コードをはずして下さい。
* 感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから抜く

お手入れの際は、安全の為、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いて下さい。
* 感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから抜く

長時間使わないときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
* 火災の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜く

各機器との接続のときは、必ず電源スイッチを切り電源プラグを抜いて、取扱説明書に従って接続して下さい。
* それぞれの機器の取扱説明書をよく読み指定のコードを使用して接続して下さい。



禁止

振動する場所やぐらつく台の上、傾いた所等、不安定な場所に置かないで下さい。
* 倒れたり、落ちたりして怪我の原因となります。



禁止

湿気や埃の多い場所には置かないで下さい。
* 火災や感電の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

■必ずお守り下さい。

左右及び天面、後面の間隔は15cm程度空け、通気の良いところに置いて下さい。
熱がこもる状態で使用されますと、保護回路が働き音声レベルが下がったり、内部部品が破損する恐れがあり危険です。



定期的な内部の掃除が必要です。販売店にご相談下さい。

本機の内部にほこりがたまったら長時間使用しますと、火災や故障の原因になることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨時期前に行うと、より効果的です。掃除費用については販売店にご相談下さい。

- 本機は民生用の音楽などを再生する目的で設計されております。
従って信号発生器や音楽以外のデータが記録されたUSBメモリー等を使用しますと、
本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーをいためる原因となる事があります。
- オーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用オーディオインターフェース機器との接続は本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因となる事があります。
- ブラウン管式のテレビ等にスピーカーを近づけますと、映像がスピーカーとテレビ等の内部にある永久磁石の影響でゆがんだり、画面と色がにじむ場合があります。十分に間隔を取る様にして下さい。
- 本製品の再生中に製品本体の近くで携帯電話などをご利用になりますとその電波により雑音が発生する場合があります。雑音が発生する場合は携帯電話などを機器から離してご利用下さい。故障ではありません。

主な特長

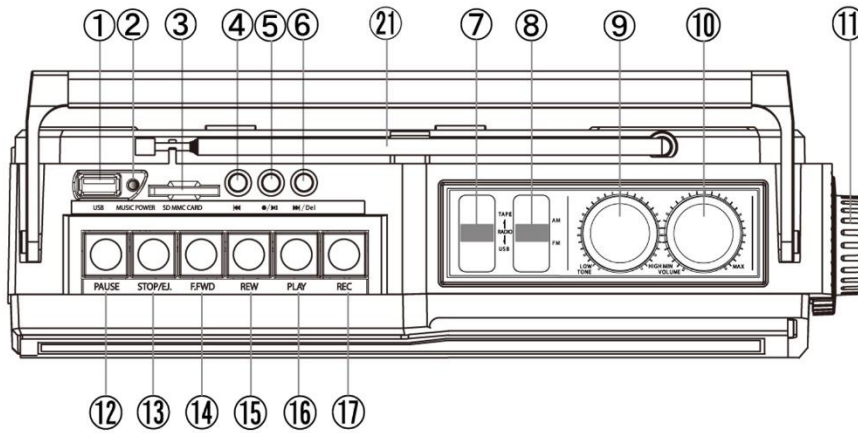
- 持ち運びに便利な大型ハンドル付き
- AM/FMラジオ
- USBポート(MP3音楽ファイル再生)
- マイクロTFカード挿入口(MP3音楽ファイル再生)
- マルチレコーダー・エンコーダー機能

付属品

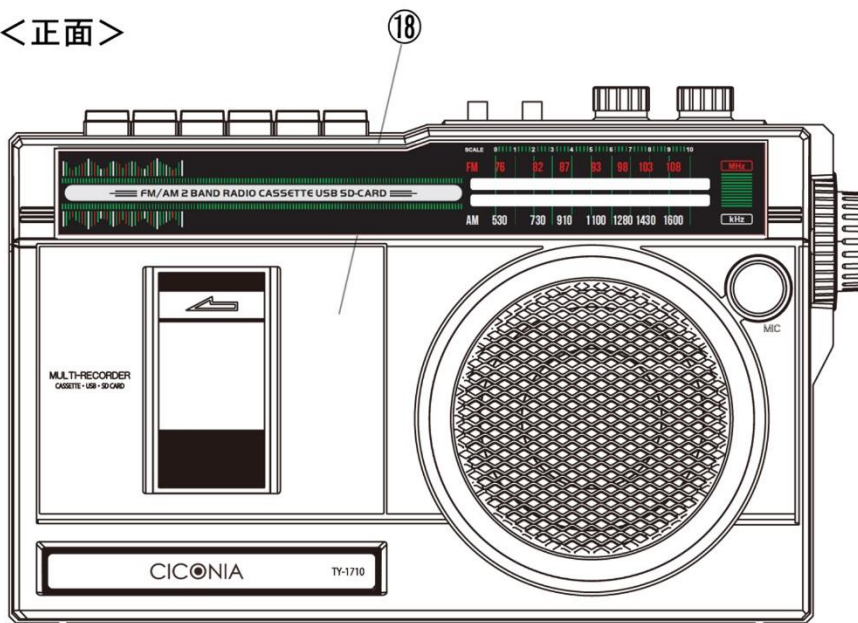
- AC電源コード(本機専用。他の機器には使用できません)。
- 取扱説明書(保証書付)

各部の名称

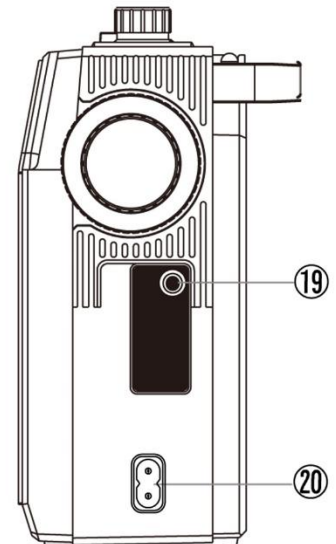
＜天面＞



＜正面＞



＜右側面＞

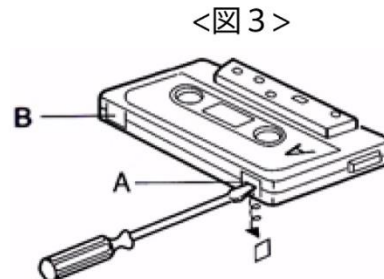
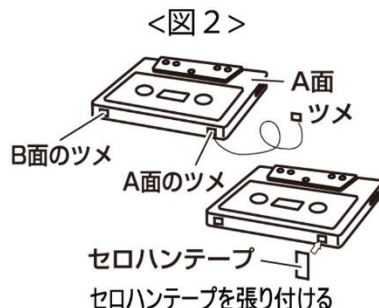


- | | |
|---------------------|---------------|
| ① USBポート | ⑫ 一時停止 |
| ② USB/SDカード再生/録音ランプ | ⑬ 停止/カセットドア開き |
| ③ SDカードスロット | ⑭ 早送り |
| ④ * 前のトラックに移動 | ⑮ 巻き戻し |
| ⑤ * 再生/停止/録音開始 | ⑯ 再生 |
| ⑥ * 次のトラックに移動/消去 | ⑰ 録音 |
| ⑦ モード切り替え | ⑱ カセットドア |
| ⑧ ラジオバンド切り替え | ⑲ ヘッドフォン端子 |
| ⑨ 音質調整 | ⑳ AC電源コード接続端子 |
| ⑩ 音量調整 | ㉑ FMロッドアンテナ |
| ⑪ ラジオ放送選曲 | |
- (* 付=USB・SDカード操作専用)

ご使用になる前に

■カセットテープについて

- * テープがたるんだ状態で本体に装着しない。たるんでいる場合は、下図<図1>の様に鉛筆や六角形状のボールペン等でたるみをなくします。
- * カセットに録音する時は、下図<図2>の様にカセット後部にある、「録音防止ツメ」を確認する。ここが折れていると録音できません。又、録音の上書きを防止(つまり内容の保存)をする時は、下図<図3>の如くこのツメを折っておきます。又、逆に、ツメのないテープに上書きする場合は、下図<図2>の様にツメの部分テープ等で塞ぎます。
- * 保管は必ず、カセットケースにいれて保管する。(テープ表面に埃やごみがつかますと、本機が正常に機能しません。埃や指紋は音のひずみとなります)。



■本機で使用可能なUSBメモリー/SDカードについて

- * 本機で再生可能ファイル形式はMP3形式(拡張子が.mp3)のみとなります。
- * USBハブには対応しておりません。
- * 容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
- * 本機でUSBメモリー内に記録されたファイルの消去やデータ等の編集はできません。
- * 使用可能メモリー容量は16GB迄ですが、読み取りに時間がかかる場合があります。
- * 音楽ファイル以外のデータが記録されている場合には、MP3再生時に、これらのデータの影響で、MP3再生が、スムーズに行かない場合があります。

電源の操作

家庭用電源で使用する場合

1. 本機⑦モード切り替えスイッチを「TAPE」の位置に設定します。
2. 付属のAC電源コードを本体⑳電源端子に、片側のプラグを100V電源コンセントにそれぞれ差し込みます。



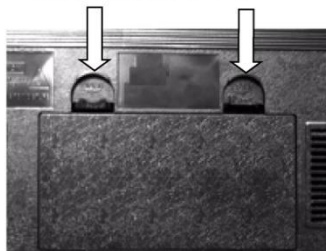
警告

- ※ 水のかかる場所で使用する時はAC電源に接続しない。
- ※ AC電源利用の場合は家庭用交流100Vのコンセントに必ず接続する。
 - ・交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因になります。
- ※ ぬれた手で電源コードを抜き差ししない。感電の原因となることがあります。
 - ・付属のAC電源コード以外は使用しない。付属以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。
 - ・持ち運ぶときは、ACコードを抜き、温度が下がってから行ってください。

乾電池で使用する場合

1. 本機⑦モード切り替えスイッチを「TAPE」の位置に設定します。
2. 下図の様に本体裏面の電池蓋のレバーを指で押し下げて蓋を開けます。
3. 単1サイズの乾電池4本を極性を間違わないように装着します。
4. 電池装着後、電池蓋をとじます。

このレバーを指で押し下げて電池蓋を開けます。



警告

1. 種類や新旧異なる電池を混用しない。
2. 長期間、ご使用にならない時は必ず電池を抜いておく。そのまま放置しておくと液漏れした後、その液で端子が錆びてしまい次回電池を装着しても、二度と使用できなくなります。
3. 電池の+/-は間違えずに正しく装着する。

ラジオの操作

1. 本機天面の⑦モード切替キーを、「RADIO」に設定する。
2. 本機天面の⑧ラジオバンド切り替えて、希望の放送局に合せ「FM」 或いは「AM」に設定します。
3. 本機右側面の⑪ラジオ選曲つまみを回して希望の放送局を聞きながら調整します。

■より良いラジオ放送の受信には、

- ※FM受信の時： 本体の ⑫ロッドアンテナを一杯に伸ばして回転させ、一番良く受信できる方向で固定します。
- ※AM受信の時： 出来る限り、窓際に本機を置き、本機自体を左右に回転させて、もっとも良く受信できる位置で設定します。

カセットテープの操作

カセットテープを装着する

1. 本機上部の⑬停止/カセットドアキーを押し下げて、カセットドアを開けます。
2. カセットのテープが見える側を上にして、聞きたい面を前にして、カセット蓋の中のガイドに沿って最後まで挿入します。
3. 挿入後、⑬カセットドア上部中央部を押し確実にカチッと音がするまで、閉じます。

カセットテープが上に見える様に挿入する。



カセットテープを再生する

1. カセット挿入後、本機天面の⑦モード切替キーを「TAPE」に設定します。
2. 本機天面の⑩音量調整ノブで、調整量の間程度に設定します。
3. 本機天面の⑬再生キーを押し下げると再生を開始します。
4. 以後の操作は、
 - * 再生の一時停止 : 本機天面の⑫再生一時停止カセットを押し下げます。もう一度押すと、キーが上側に戻り、再生に戻ります。
 - * 停止/カセットドア開き : 本機天面の⑬停止/カセットドア開を押し下げます。強く押すと、カセットドアが開きます。
 - * 早送り : 本機天面⑭早送りキーを押します。
 - * 巻き戻し : 本機天面⑮巻き戻しキーを押します。

<ご注意>

テープ巻き取りが終わったままの状態、停止キーを長時間押し忘れると、モータは回転していますのでテープの伸びや、メカの故障の原因となりますので、ご注意ください。

■自動停止機能

再生と録音時に、テープが最後になると、再生キーが上に戻り、自動停止します。しかし、早送りと巻き戻しモードの時は、巻き取りが終わっても、キーが戻り自動停止はしないので、巻き取りが終わったと思われるら、停止キーを押して、巻き取りを停止します。

カセットテープに録音する

<ご注意> * 録音したい側のツメが折れていない事を確認します。
* 録音は、以前の録音済み分の上に常に上書き録音されます。

■ラジオから録音する

1. 本機天面の⑦モード切替キーを「RADIO」に設定します。
2. 天面の⑧ラジオバンド切り替えて、「AM放送」又は「FM放送」を選定します。
3. ラジオ局を、右側面の⑩ラジオ選曲つまみで選曲します。
4. カセットテープを挿入後、本機天面の⑰録音キーを押し下げると録音開始します。

■内蔵マイクから録音する

1. 本機天面の⑦モード切替キーを「TAPE」に設定します。
2. カセットテープを挿入後、本体天面の⑰録音キーを押し下げると録音開始します。
3. 停止と一時停止のいずれかの操作は、上に説明の「カセットテープを再生する」の「4」以降の操作と同じです。

■USBメモリー/SDカードから録音する

次のページの「USBメモリー/SDカードの操作」を参照します。

<録音後の録音内容を再生する>

1. 本機天面の⑦モード切替キーを「TAPE」位置にあるか確認する。
2. 本機天面の⑮巻き戻しキーを押して、テープを巻き戻します。
3. 後は上に説明の「カセットテープを再生する」と同じ方法で再生します。

■カセットメカの手入れ

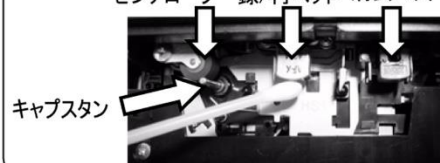
<ヘッドクリーニング>

- 1) 録音後の音にノイズが大きく録音されていたり、音質が歪んで聞こえる場合は、下の図の様に、綿棒の先端にクリーナー液を少し浸みこませ、その先端で図の様に録/再と消去ヘッドの表面を磨いてみる。
- 2) 長時間使用するとヘッドが磁化され、録音・再生音がぼそぼそと音がしますのでその場合は、市販のヘッド消磁器でヘッドを消磁して下さい。

<ピンチローラーやキャプスタンローラーの手入れ>

ヘッドと同様に、クリーナー液を浸みこませた綿棒で、表面を磨きます。

ピンチローラー 録/再ヘッド 消去ヘッド



USBメモリとSDカードの操作(その1)

★重要なお願い★

1. 挿入後、動作がおかしくなったり、フリーズした場合は、⑦モード切り替えスイッチを「TAPE」に設定し、ACコードを抜き、暫くしたあとで、再度ACコードを接続して使用ください。
2. それでも、おかしい場合は、そのUSBメモリーの内容・状態を調べて下さい。
3. 音楽ファイル以外のデータがメモリーに記録されている場合には、MP3再生時に、これらのデータの影響でMP3再生がスムーズに行かない場合がありますので、音楽データのみ記録されたメモリーを使用して下さい。

■再生可能ファイルはMP3形式のみ



記録状態により音とびや再生できない場合があります。

* ISO9660に準拠したMP3方式で圧縮された音楽ファイル。

* 記録されたときの音声コーデックの条件により、音声が入切れる場合があります。

USBメモリーとSDカードの装着

1. 本機天面にある、①USBポートにUSBメモリーを 或いは ③SDカードスロットに確実に最後まで挿入します。
 2. 取り外す際には本機の⑦モード切り替えスイッチを「TAPE」の位置にするか、他のモードに切り替えた後に外します。
- ※ 両方同時に挿入した時は、常時USBメモリーが優先されます。

再生操作

1. 挿入後、本体天面の⑦モード切り替えスイッチを「USB」の位置に設定します。
2. 設定後、すぐに自動再生が始まります。
※ この時、②USB/SDカード再生/録音ランプが点滅します。
3. 再生開始後は、以下のボタンで操作します。
 - ④前のトラックに戻る
 - ⑤再生/停止
 - ⑥次のトラックに移動

<天面>



録音操作-1 (USB/SDカード⇒カセット)

1. 本機天面の⑦モード切替キーを「USB」に設定します。
2. カセットテープを挿入します。
3. USBメモリー(又はSDカード)を挿入します。
4. 直ちに自動再生するので、録音希望するトラックを ④前のトラックに戻る、或いは ⑥次のトラックに移動で選曲し、選曲後自動再生開始する前に⑤再生/停止/録音開始ボタンを一度押し、「停止」状態にする。
5. 天面の⑫一時停止キー、⑬録音キーの順番でおします。(テープは、録音一時停止状態となる)。
6. この⑫一時停止キーと⑤再生/停止/録音キーを同時に押すと、録音を開始します。
7. 一曲の録音が終わると、すぐに天面の⑬のカセット停止キーを押す。
(仮に、メモリーの音楽を連続録音したい場合は、そのまま放置しておきます)。

■ご注意

これらの録音操作は、一曲ずつ個別に自動録音しませんので、一曲毎マニュアルで操作をします。

■ご注意とお願い

- ※本機のUSBポートは充電用ではありませんので、他外部機器への充電は避けて下さい。
仮に充電可能に見える場合でも、本機の電源等に悪影響、或いは破壊につながる可能性がありますので、絶対に避けて下さい。
- ※USBメモリー再生中にこのメモリーが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

USBメモリーとSDカードの操作(その2)

エンコード録音-1(カセット⇒USB/SDカード)

1. 本機天面の⑦モード切替キーを「TAPE」に設定します。
2. USBメモリー/SDカードにエンコード録音したいカセットテープを挿入します。
3. USBメモリー(又はSDカード)を挿入します。

■ ご注意

USBとSDカード両方同時に挿入せず、録音したいメモリーのみ挿入します。
両方挿入した時は、常にUSBメモリーが優先されます。

4. エンコード録音を希望する曲の頭を天面のメカ操作キー⑭早送り或いは⑮巻き戻し操作で見つけておきます。
5. 録音したい部分より数秒前からカセットテープを再生し、
天面の ⑤再生/停止/録音ボタンを、2秒ほど長押ししますとエンコード録音開始します。
※ この時、本体天面の②USB/SDカード再生/録音ランプが点滅します。
6. 一曲のエンコード録音が終了したら、天面の⑤再生/停止/録音ボタンを押して録音を停止します。

■ ご注意

このボタンを押さずに放置しておくと、カセット内の音楽全部が一つのファイルとして
エンコード録音されますのでご注意ください。

■エンコード録音されたファイル表示

(親ファイル名)

(下層ファイル名)



jl_rec



rec00000.mp3 (ファイル毎に表示されます)

エンコード録音-2(内蔵マイク⇒USB/SDカード)

1. 本機天面の⑦モード切替キーを「USB」に設定します。
2. USBメモリー(又はSDカード)を挿入します。
3. メモリーに音楽ファイルがあると、直ちに自動再生するので、⑤再生/停止/録音開始ボタンを一度押し、
「停止」状態にする。
5. 天面の ⑤再生/停止/録音ボタンを、2秒ほど長押ししますとエンコード録音開始します。
※ この時、本体天面の②USB/SDカード再生/録音ランプが点滅します。
6. 再度、天面の⑤再生/停止/録音ボタンを短時間押すと録音が停止します。

メモリー内の音楽データを消去

※ USBメモリー又はSDカードに記録されている、音楽データを削除することができます。

1. データを削除したいメモリーメディアを挿入します。
2. 本機天面の⑦モード切替キーを「USB」に設定します。
3. 設定後、すぐに自動再生が始まります。
4. 再生開始後、再生中に、天面の⑥次のトラックに移動/消去ボタンを2秒程長押しすると、
その曲が削除されます。

■ ご注意

このボタンを長押ししすぎると、次のトラックも消去されますので、消去中に消去したい曲の
再生音が消えたら、すぐにこのキーを押すのをやめます。

製品仕様

カセットデッキ部		モノラル録音・再生、セミオートストップメカ
アンプ部	定格出力	5.0W
ラジオ部	FM	76-108MHz
	AM	530-1600kHz
USB部	再生可能フォーマット	MP3音楽再生(拡張子mp3)
端子	入力	USBポート
		SDカード挿入口
	出力	イヤフォン端子
基本仕様	電源	AC100V 50/60Hz、DC6V(単1形電池4本)
	消費電力	12W
	寸法(mm)	293(幅) X 89(奥行き) X 180(高さ) (突起物除く)
	重量	約1.43Kg (本体のみ)
付属品 ■取扱説明書 ■AC電源コード		

* 上記の内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。 あらかじめご了承ください。